

平成二十七年年度 第三回

- 2 線部A「仏頂面」の意味として適切なものを、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 沈んで悲しそうな顔つき。 イ いばって偉そうな顔つき。 ウ 親切で優しくな顔つき。 エ 無愛想で不機嫌な顔つき。
- 3 線部B「均等」と同じ組み立てになっている熟語を、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 危険 イ 雷鳴 ウ 就任 エ 愛読
- 2 線部A「経」の漢字について、部首の部分に行書の特徴の一つである点画の省略を用いて、行書で書きなさい。
- 3 線部B「支持される」の「れる」と文法的な性質が同じものを、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 次の道までは走られる。 イ 家族のことが思われる。 ウ 来賓の方が退出される。 エ 来年の部長に選ばれる。

平成二十七年年度 第二回

- 2 線部ア～エのうち、一つだけ違う品詞になるものを選び、記号で答えなさい。また、その品詞名を漢字で書きなさい。
ア さまざまな イ どんな ウ ある エ たいした
- 2 本文中の A に入る慣用句として適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 砂をかむ イ 胸をこがす ウ 峠をこす エ 雲をつかむ
みじめでちっけな自分と向き合い、 A ような毎日ばかりと人生に必須の科目なんです。

平成二十七年年度 第一回

- 2 線部は、「強いものが、力を得て、一層強くなる」という意味のことわざである。 A に入る適切な語句を漢字で書きなさい。
「間に合うどころか。鬼に A だ。ことが決まったら、一刻も早い方がいい。」
- 2 線ア「よく食べていた」を例にならって、単語に区切りなさい。(例)明日の／天気
- 3 線イ「柱」とあるが、部首の部分に行書の特徴の一つである点画の省略を用いて、行書で書きなさい。

平成二十六年年度 第三回

- 2 線部「同じ場所」とあるが、この中で用いられている「で」の品詞名を書きなさい。また、線部「で」と異なる品詞の「で」を用いたものをア～エから選びなさい。
ア 弟と妹は仲良く遊んで、公園から帰ってきた。 イ 私の姉は看護師で、明るい性格の持ち主だ。
ウ 母は自転車で、夕食の買い物に出かけた。 エ 近所の山で、夏休みにキャンプする予定だ。

ア 階 イ 蒸 ウ 極 エ 複

平成二十六年年度 第二回

- 2 行書の特徴の一つに筆順の変化がある。この特徴を用いて、線部A「取」を行書で書きなさい。
- 3 線部B「袖にしていた」の意味として適切なものを、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
そんなことから、逆恨みもあって、長いこと豆腐を袖Bにしていたのだが、この頃になって、これはつきりしないものを、おいしいと思うようになった。
ア 冷たくあつかって来たこと。 イ いやがって逃げて来たこと。
ウ 気にかけて覚えていたこと。 エ つい今まで忘れていたこと。
- 2 には、「偶然」の対義語が入ります。漢字二字で書きなさい。
- 3 線「発芽」と同じ組み立てになっている熟語を、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 温暖 イ 着席 ウ 強風 エ 日没
- 4 線部A「大きな」・B「小さな」・C「ような」・D「未熟な」のうちから、活用する自立語の一つを選び記号で答え、その品詞名を漢字で書きなさい。(両方合って正解)

平成二十六年年度 第一回

- 2 線部「湯桶」のように、上の漢字を訓、下の漢字を音で読む熟語をア～エから選び、記号で答えなさい。
ア 一軒 イ 仕事 ウ 両肩 エ 塩気
- 6 線部②「一矢を報いる」の意味をア～エから選び、記号で答えなさい。
ア 短く返答すること イ わずかでも仕返しすること ウ すぐに同意すること エ 少しだけほめること
- 2 線ア「若」を漢和辞典の部首索引を使ってさがす場合、なんという部首名でさがせばよいか、部首名をひらがなで書きなさい。また、その部首を行書の特徴の一つである筆順の変化を用いて、行書で書きなさい。
- 3 線イ「考える」ウ「すれ」の活用の種類と活用形をそれぞれ書きなさい。

夜イ考えることと、朝ウ考えることとは、

どんなことでも、朝飯前ウにすれば、